

格安SIMと格安スマホって？

大手キャリアのガラケー・スマホを使い続けて19年。
ずっと同じ業者でプラン変更しながら使っていたのですが・・・
周りを見ると格安スマホを使っている人が増えてきました。
スマホの調子が悪くなったのを機に、もっと割安に使えない
かと思い、調べてみました。



KT_Takatsuki

用語説明

- ・ SIMカード : スマートホン(又はiPhone)やガラケーの中に入っている小さなチップのこと。
電話をしたりネットに繋げるための情報が入っている。
- ・ SIMロック : 特定の通信業者のSIMカード以外は受け付けない(通信できない)ロックのこと。
docomoで販売されているスマホはdocomoのSIMカード、
auはauのSIMカード、SoftbankはSoftbankのSIMカードしか使えないように
ロックされている。
- ・ SIMフリー : ロックがかかっていないSIMカードのこと。
大手キャリアのSIMカードも一定の条件を満たせばロック解除ができる。

用語説明

- MNO : 自前の通信ネットワークサービスを持っている大手通信業者のこと。
Docomo、au、Softbankなど。
- MVNO : MNOから通信回線を借りて独自ブランドや独自サービスを付けて通信サービスを提供する再販業者。格安スマホや格安SIMを販売している。現在500社以上ある。
(例) 楽天、MINEO、UQ、OCN、IIJ、Biglobe、イオン、Line、DMM、Fleetel(楽天)等
- MVNE : MNOとMVNOの間に立ち、回線、端末、課金調整等の支援をする。
- MNP : 通信業者を変更しても前の電話番号を使い続けられる制度のこと。(乗換えと言う)
特に携帯電話向けのものをMNP(モバイルナンバーポータビリティ)と言う。
現在契約中の通信業者から「MNP予約番号」をもらい移行手続きする。
これをしない場合、新しい電話番号になる。
- 格安スマホ : スマホと格安SIMカード(通信プラン)を組み合わせ、月々の支払料金を押さえているスマホプランのこと。MVNOが提供している。

格安スマホ端末はどこで買える？

1. モバイルショップや家電量販店などで買う
2. Amazonや楽天などネット通販で買う

1. モバイルショップや家電量販店などで買う

ほとんどの家電量販店の携帯電話コーナーの目立つ場所に「格安スマホコーナー」がある。実際に端末を見て触ることが出来る。原則として端末の設定等はせず販売のみ。

2. ネット通販で買う

ある程度SIMフリースマホに対して知識がある方にお勧めの方法。

実際に見て触ることはできないが実店舗より安い価格で手に入れられる。最近は携帯の販売店や全くの異業種も参入している。

MNP(乗換え)について

総務省の「SIMロック解除の推進化」により2015年5月以降、一定の条件を満たすことで大手キャリアのスマホのSIMロック解除が出来るようになった。

条件 (各社で異なる)

- ・ 端末を一括払で購入または分割払いで完済している。
- ・ 指定の利用期間を経過している。
- ・ iPhone 6 s以降のiPhone。

格安SIMを選ぶ

- ・ 格安SIMには通話SIMとデータSIMがある。

通話SIM：キャリアのSIMと同じ機能を持つ。電話もネットもできる。

データSIM：SMS(ショートメッセージサービス)付きとSMS無しの2種類のデータSIMがある。SMSが付いているとネットワークサービスの認証の時便利。

(月額100円から150円位の差)

電話機能はない。使い方に応じ通話SIMと組合せる。

- ・ 元のスマホと同じ携帯番号を使いたい時はMNP(乗換え)手続きをする。
- ・ 新しい電話番号にする場合は新規契約／新規番号を選ぶ。

スマホ端末を選ぶ

- ・ スマホを持っていない場合は新しいスマホを購入する。
格安SIMと一緒に購入すると特典が付き割安になることが多い。
MVNO(格安SIMの会社)によって取り扱っているスマホの種類に制限がある。
スマホとSIM(が使っている通信サービス)の相性があるので初心者はスマホとSIMのセット販売が無難。
特にauの通信方式が特殊なのでau系列のスマホ、SIMは要注意。
- ・ 今持っているスマホをそのまま使う。
MNP(乗換え)手続きをして使用できる。
(大手キャリアのスマホにはSIMロックを解除しなくても使い続けられるケースもあり)

格安スマホのメリット・デメリット

<メリット>

- ・多くの場合、スマホ代が月2,000円～3,000円になる。
大手キャリアの3分の1位の月額料金でスマホを使えるプランが多い。
- ・ほとんどの場合、1年程度利用すれば解約や他社へ乗り換えても違約金は発生しない。
(中には2年縛りの自動更新契約になるケースもある)
- ・格安スマホにした方が良い人
 - ・スマホをあまり使わない人(月に1GB～2GB) ・ ・ 格安の方が安い
 - ・ゲームをあまりしない人 ・ ・ よほど重たいゲーム以外は問題ない

<デメリット>

- ・ 格安スマホのデメリットは「自分で調べないと分からないことが多い」こと。
大手キャリアのように実店舗が無く、問い合わせは電話またはネットからになる。
実店舗を持つ格安スマホもあるが、主として新規契約やプラン変更を取り扱う。
まず、ネットでよく調べる、よく知っている人に聞く、など十分な予備知識を持つ事が大事。ショップに行っても、おっかぶせるように誘導するところではなく、こちらの希望をよく聞いてくれるところを選ぶのがよい。
- ・ 格安スマホだと通信速度が遅くなる。 (通信速度が速いものもある)
大手キャリアは通信回線の中で独自の大きな道を持っており、MVNOの道は狭い。
狭い道を使うことで安い料金でのサービスが出来る。が、これにより時間帯によっては
(平日の昼等)通信速度が遅くなる。

<デメリット>

- ・格安スマホは電話代が高くなる？

電話代はキャリアも格安も同じ。

「カケホーダイサービス」が無いので注意。(時間管理アプリを使うのも良い)

- ・キャリアメールが使えない。

docomo、au、Softbankなどの大手キャリアで使っていたキャリアメールが使えなくなる。

大手キャリアからのメールはガラケーの人にも問題なくメールを送れるが、格安スマホはgメールやヤフーメールでのメールになるため、ガラケーやPCメール拒否を設定している人には届かない。ブロックを解除してもらう必要がある。

MVNO(格安スマホの会社)って？

最近の調査でマーケットシェアは以下のとおり。

- 1位：楽天
- 2位：MINEO
- 3位：UQ
- 4位：OCN
- 5位：IIJ

格安スマホを扱っている会社はたくさんあり、提供しているサービスも多種多様です。

他方、大手キャリアも色々なプランを提供しており、かなり安く利用できる場合もあります。

違約金なしで乗換えが出来る「更新月」も今年3月から3か月になります。

自分のスマホの使い方を振り返って、ストレスなくしかも安いのはどれか、一度考えてみませんか？

ちなみに、私の場合

<元の携帯使用状況>

データ契約量：5G/月 ⇒ 実際の使用量：1～2G。前月の残量が上乗せされ常に9G

電話はホワイトプラン(Softbank契約者同士は時間帯によって無料となる)

安心プランも添付 ⇒ 一度も使ったことがない

携帯使用料金：端末購入後の2年間は大体9,000円～10,000円以上の月も

端末料金が無くなってから8,000円～9,000円



<MNO他社に乗換えました>

データ契約量：3G/月、使用量により1,000円単位で上下するプランに

電話：5分かけ放題 安心プランは付けず

スマホ端末：2018年9月発売のスマホがキャンペーンにより無料

携帯使用料金：3,500円位(1年目) 2年目から上がるのでその時点で格安にするか？

前述の通り、1年後には料金が上がります。

今回、スマホ端末は無料で手に入れたので、勉強した知識を基に格安スマホに乗換えを図ろうと思っています。

<実際に相談に行った店舗>

- ・ヨドバシ梅田店
- ・イオン高槻店、新茨木店
- ・モバイルショップ摂津富田店

<参考にしたサイト>

- ・ kakuyasu-sim.jp
- ・テルル
- ・知恵蔵
- ・MNVO各社と量販店のwebサイト

終わり